



ねんりんピック剣道交流大会県代表

かました かずひろ

釜下一浩さん



PROFILE

かました かずひろ (西側区・59)
市体育協会副会長。御前崎市剣道連
盟副会長。剣道教士7段。「県すこや
か長寿祭スポーツ大会」剣道競技で
優勝。「ねんりんピック」県代表が決
定した。

尊敬する先輩に続く

竹刀を打ち合う音と気合の
込もった声が響く剣道場「白
雲館」。釜下さんが所属する
道場だ。週2回の稽古の中で
己を磨いている。

5月12日、静岡市で開催さ
れた「第29回静岡県すこやか
長寿祭スポーツ大会剣道競技
大会」の60歳以上65歳未満の
部で見事優勝。11月に富山県
で開催される「第31回ねんり
んピック剣道交流大会」へ静
岡県代表として出場すること
が決定した。

「率直にうれしい。昨年は
先輩2人が出場したので『次
は自分が』という思いで1年
間稽古に励んできた」。りり
しい姿からは笑みがこぼれ
る。同大会は年々参加者が増
加。勝ち上がることが難しい
という。年に1度のこの大会
に向けてきた努力が実った。

まだまだ、生涯現役

小学6年から剣道が続けて
いる釜下さん。途中ブランク
が10年ほどあったが、通算40
年近く続けている。

「先輩にも後輩にも、良い
仲間がいたからこそ続けるこ

とができた。中学、高校、大
学時代は厳しかったが、とて
も成長させてもらったと思っ
ている」と振り返る。

厳しい稽古のイメージがあ
る剣道。その魅力は「礼に始
まり礼に終わる武道、日本の
伝統文化。集中力が養われる
こと」だという。所作、作法
を常に意識している姿には、
取材をするこちらも自然と背
筋が伸びた。

「体が動くうちはずっと剣
道が続けたい」と話す釜下さ
ん。将来的には「もう一度こ
の大会に、御前崎の人と一緒
に進出したい」と夢を語った。

同志の思いを背に全国へ

ねんりんピックでは静岡県
代表として、他市町の剣士と
共に戦う。「先鋒なので、勝っ
てチームに勢いをつけたい。
前回静岡県はベスト8だっ
た。その記録を超えられるよ
うに」と意気込んだ。

釜下さんは、近頃の剣道人
口がめっきり減っていること
を憂う。「これを機に御前崎の
剣道人口が増えたら」と話す。

釜下さんの武運を祈り、御
前崎市の剣道がさらに発展す
ることを期待したい。